

UNIVERSITY OF TSUKUBA

23

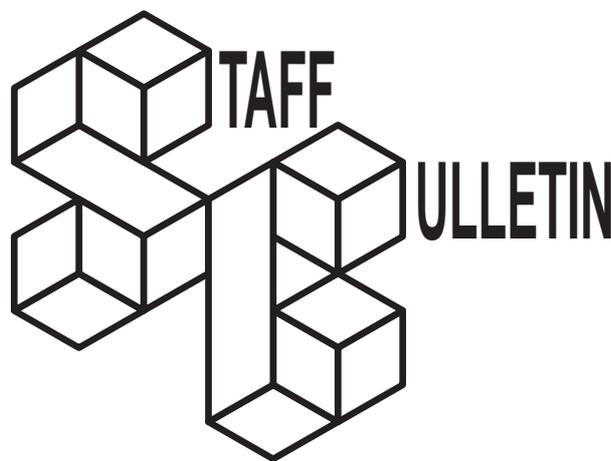
2003 速報つくば

筑波大学広報・公開室編集

企画調査室発行

平成15年12月25日

通巻1069号



開学30周年（創基131年）記念「障害児教育教員養成100周年記念行事」



挨拶する岩崎副学長

11月29日（土）午後、東京キャンパスで、開学30周年記念行事の一環として、障害児教育教員養成100周年記念行事が実施されました。明治36年(1903)、東京盲啞学校に教員練習科が置かれ教員養成が開始されてから100周年にあたることを記念するもので、関連組織である心身障害学系、学校教育部、障害教育附属4校及び理療科教員養成施設連携のもとに実施されました。

第一部「100年とこれから」では、映像資料と長尾榮一理療科教員養成施設前施設長の講話で歴史を振り返り、また附属障害教育4校の現在についてはVTRでの紹介がありました。

第二部シンポジウム「障害児教育教員養成の新世紀 - 更なる専門性の発展を求めて - 」は、学外から文部科学省特別支援教育課上月正博課長、渡邊健治東京学芸大学教授を迎え、中村満紀心身障害学系長、齋藤佐和附属聾学校長を加えて行われ、障害児教育の専門性を継承・発展させるための教員養成・研修の在り方、本学の役割などを巡って、香川邦生教授（心身障害学系）司会のもとに活発な議論が行われました。

当日は、岩崎庸男副学長からの挨拶があり、メイン会場のG501教室がほぼ満席となる学内外からの参加者で賑わいました。休憩時間には、周囲の教室で行われた理療科教員養成施設、附属4校の展示も見学頂きました。

人文・社会科学振興のためのプロジェクト研究事業に本学から3プロジェクトが採択される

独立行政法人日本学術振興会による「人文・社会科学振興のためのプロジェクト研究事業」に本学から3プロジェクト研究が採択されました。

本事業は、文部科学省科学技術・学術審議会学術分科会において、現代社会における人類が直面している様々な問題の解明と対処のため、人文・社会科学を中心とした各分野の研究者が協働し、学際的、学融合的に取り組む研究を進め、その成果を社会への提言として発信することを目的としており、本年度から事業を開始します。

採択された研究者とプロジェクト名、本年度配分研究費は以下のとおりです。



辻中豊教授（社会科学系）

多元的共生社会に向けた知の再編（「多元的共生に関する国際比較」の研究）

本年度研究経費9,400千円
（うち間接経費2,200千円）



吉田あつし教授（社会工学系）

医療システムと倫理（医療システムと医療専門家組織、保険者、民間保険機関の役割）

本年度研究経費4,600千円
（うち間接経費1,100千円）



木村武史助教授（哲学・思想学系）

千年持続学の確立（心性の持続性に関する学融合的研究）

本年度研究経費4,600千円
（うち間接経費1,100千円）

田中秀夫教授（応用生物化学系）研究指導下の農学研究科5年小川洋子氏が日本生物工学会80周年記念大会でベストポスター賞を受賞

田中秀夫教授（応用生物化学系）研究指導下の農学研究



筑波大学開学30周年（創基131年）



科5年小川洋子氏(応用生物化学専攻)が10月28日~30日に行われた、日本生物工学会80周年記念大会にてベストポスター賞を受賞しました。このポスター発表は「優れた換気効果を有する新規な好気培養システムの開発 - 高い換気効果を有する培養フラスコ

(TOフラスコ)の開発と実用化 -」の題目で行われ、研究内容、プレゼンテーション及びポスターの美的効果などを評価対象に、来場者の投票で決定されました。研究内容とともに、他にはみられなかった展示方法が高く評価されました。

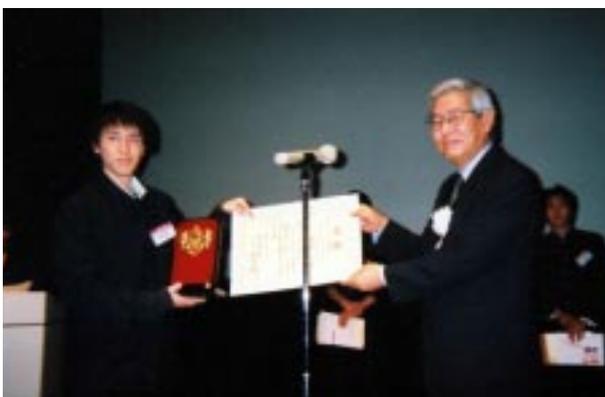
阿部豊教授(機能工学系)指導下のシステム情報工学研究科1年山田章吾氏が日本混相流学会年会講演会で学生優秀講演賞を受賞



阿部豊教授(機能工学系)研究指導下のシステム情報工学研究科1年山田章吾氏が、7月23日、24日に大阪大学で開催された日本混相流学会年会講演会2003において、学生優秀講演賞を受賞しました。

今回の受賞対象となったのは、「超音波を利用した過冷却凝固に関する研究」と題する講演です。審査の基準は、研究内容の評価のみならず、プレゼンテーションの良否自体も審査対象となっており、山田章吾氏の今回の受賞は、その両方が高く評価されたものです。

附属坂戸高校3年神林亮君がジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジで優秀賞を受賞



附属坂戸高校3年の神林亮君は、「一般の人々でも利用可能なグリッド技術の実現」という課題研究論文を「第1回ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ(朝日新聞社主催、文部科学省他後援)」に応募し、優秀賞を受賞しました。この結果、来年5月に米国オレゴン州で開催される国際科学フェア“Intel

International Science and Engineering Fair (Intel ISEF)”への出場権を獲得しました。この大会は特別協賛である米インテル社がメインスポンサーをつとめる国際科学フェアです。

また、神林君はAC入試において情報学類への入学が決定しています。大学入学後すぐに国際舞台で研究発表を行うこととなります。

低温センターが高圧ガス優良製造所として表彰される



賞状を持つ瀧田低温センター長

低温センターは第1種高圧ガス製造事業所として昭和52年から低温寒剤の供給を行っています。このたび茨城県の高圧ガス保安協会から保安管理および保安教育が優秀であり、災害防止に努めてきた優良製造所として表彰されました。瀧田宏樹低温センター長が11月21日の表彰式に出席し、賞状と記念の盾を頂きました。

筒井達夫助教授(臨床医学系)がWho's Who in the World 2003(第21版)に掲載される

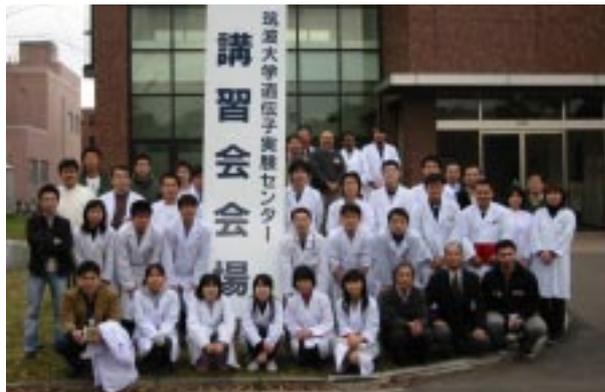


筒井達夫助教授(臨床医学系)は、MARQUIS版Who's Who in the World 2003(第21版)に掲載されることになりました。Who's Who in the Worldの人名録は世界的に権威のあるもので、国際的に貢献度の高い人物を厳選して掲載するものです。筒井助教授は人工心臓をはじめとする人工臓器の研究を行っており、その研究活動が高評価されて、今回の掲載となったものです。

平成15年度バイオテクノロジー基礎技術研修会が開催される
- 遺伝子実験センター -

遺伝子実験センターでは、11月24日~29日の6日間にわたり、遺伝子操作技術の発展と研究者・技術者の養成を図ることを目的に、バイオテクノロジーの実験に着手

はじめた国内研究者20名、外国人研究者5名を対象に「バイオテクノロジー基礎技術研修会」を実施しました。この研修会では、組換えDNA実験に関する法的な背景の講義の後に、サザンブロットング法やシークエンサーによるDNA塩基配列の決定等を行い、組換えDNA実験や細胞工学の基礎的技術を受講生に習得していただきました。



筑波大学・茨城大学・茨城高専・中小企業合同技術交流会が開催される



開会挨拶の様子

大学と企業との技術交流の促進等を目的とした「筑波大学・茨城大学・茨城高専・中小企業合同技術交流会」が、12月4日（木）（13:30～）に、本学産学リエゾン共同研究センター、茨城大学、茨城工業高等専門学校、茨城県、（財）茨城県中小企業振興公社、茨城産業会議の主催により、ホテルサンガーデン日立（日立市）において開催されました。

この合同交流会は、本年7月に土浦市で開催されたのに次いで2回目であり、そのほか、本学単独の交流会を本年は水戸市、鹿島地区（神栖町）において開催しております。

各大学等の研究者による技術シーズ紹介が行われ、本学からは、野村暢彦講師（応用生物化学系）が「微生物の制御にむけての分子生物学的アプローチ」を、鈴木博章助教授（物質工学系）が「マイクロ化学センサと微量化学分析システム」を紹介し、地元企業など約140名の参加者が熱心に聞き入っておりました。

また、同時に企業に対する技術相談会が行われ、本学のシニアコーディネータなどにより懇切丁寧な指導、助言が行われました。引き続き行われた大学関係者と企業関係者との懇談会では活発に意見交換が行われるなど、盛況な交流会となりました。

筑波大学科学技術相談会 in 水戸が開催される

- 知財統括本部 -



相談風景

知財統括本部は、茨城産業会議との共催により、12月10日（水）13:00～17:00に、水戸駅前の三の丸ホテルにおいて「筑波大学科学技術相談会 in 水戸」を開催しました。この相談会は、茨城産業会議を構成する茨城県商工会連合会、茨城県中小企業団体中央会、茨城県商工会議所連合会及び茨城県経営者協会への加盟企業等に対し、本学の相談スタッフが当該企業等の抱える技術的問題について相談に応じ、共同研究・受託研究の組織化を支援することを目的として開催したものです。

当日は、菊本虔リエゾン推進室長をはじめ、松尾勝、片山良史の両シニア・コーディネーター、藤田尚徳技術移転マネージャー、上原健一ビジネス・インキュベーション・マネージャー及び浅野定雄技術専門職員が、県内から訪れた企業等からの多様な相談を受けました。

冬季の省エネルギー対策について

- 財務委員会副委員長 岩崎庸男 -

政府の省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議において、冬季の省エネルギー対策が下記のとおり決定され、文部科学省大臣官房文教施設部長から、これらの対策について教職員、学生等への周知方の依頼がありましたので、省エネルギー対策に努めてください。

記

省エネルギー対策については、温室効果ガスの削減をはじめとする地球温暖化問題への対応に加え、民生・運輸部門を中心に増加傾向が顕著となってきた近年のエネルギー需要動向からも、今後、省エネルギーを一層強化することが必要とされているところであります。つき

ましては、家庭・オフィスにおける省エネルギー活動として、次のような点から省エネルギーのための点検を実施し、その状況を踏まえて、省エネルギーに積極的に取り組まれるようお願いいたします。特に、照明をこまめに消灯することやエレベーターの利用を控え、昼休み等には照明の半分を消灯することなど、実施可能なものから節電に努めましょう。

1. 家庭では暖房中の室温が20℃を超えないように部屋の温度のこまめな調節に努めましょう。
2. 必要のないときにもエアコンをつけっ放しにしていますか？1日1時間エアコンの使用を控えましょう。
3. 入浴時にシャワーのお湯を流しっ放しにしていますか？シャワーのお湯の流しっ放しを1日1分間やめることに努めましょう。
4. お風呂はお湯が冷めないうちに連続して入浴しましょう。
5. 見る必要のないときにもテレビをつけっ放しにしていますか？1日1時間テレビの使用を控えましょう。
6. 電気製品の待機時消費電力は決して小さくありません。リモコンでスイッチを切っても電力を消費する機器がたくさんあります。電気製品の主電源をこまめに切りましょう。
7. 給湯温度を高めに設定していませんか？食器洗いに使用のお湯の温度を5℃低くしましょう。
8. 冷蔵庫に物を詰めすぎではありませんか？詰め込みすぎると冷気の流れが悪くなり、余分な電力を消費します。冷蔵庫を効率的に使用しましょう。
9. 洗濯機を使用する際には、すすぎ前の脱水、適正量での洗濯に心がけ、効率的な使用に努めましょう。
10. 掃除機を使用する際には、集塵袋の手入れ等に心がけ、効率的な使用に努めましょう。
11. 必要のないときも照明をつけっ放しにしていますか？照明をこまめに消灯することに努めましょう。
12. 照明にはエネルギー使用量が少なく済む蛍光灯を使いましょう。
13. エレベーター、照明の使用を調節しましょう。
エレベーターの利用を控え、昼休み等には照明の半分を消灯することに努めましょう。
14. 短距離の移動に際しては、なるべく徒歩や自転車を利用しましょう。
15. 自動車を利用する際は、駐停車時のアイドリングストップ、急発進・空ぶかしの抑制、タイヤの空気圧の適正化を始めとする点検・整備の励行等自動車の適正な使用に心がけましょう。
16. 自動車を利用する際は、無駄な荷物の運搬を控えましょう。
17. 炊飯ジャーはできるだけ保温機能を使わず、必要に応じて加温するようにしましょう。
18. できるだけ家族団らんの時間を増やし、空いた部屋の照明や暖房は切るようにしましょう。

筑波大学発ベンチャー・研究事業化発表会開催について

“つくば発”の研究成果を広く社会にアピールすると共に、更なる「産と学」との連携を促進することを目的に、「筑波大学発ベンチャー・研究事業化発表会（大学から生まれた独創的技術をご紹介します）」を次により開催します。興味のある方は、奮ってご参加ください。

日時：1月21日（水）14:00～16:00

場所：経団連会館11階・国際会議場（ゴールドンルーム）
千代田区大手町1-9-4（地下鉄大手町駅下車）

<http://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/kaikan/map.html>

プログラム：

14:00～14:10 開会の挨拶 高木英明副学長

14:10～14:45

バイオディーゼルによるCDM（クリーン開発メカニズム）/JI（共同実施）事業の展開

松村正利教授（応用生物化学系）

植物油のエステル交換反応を用いたメチルエステル化燃料（BDF）は、SO_xや黒鉛発生の少ない環境に優しいディーゼル燃料であり、欧米諸国ではその利用促進が図られている。これらの事業を展開するベンチャー設立の構想について述べる。

14:45～15:15

パワードスーツ（仮題）

山海嘉之教授（機能工学系）

人間と機械・情報・制御の融合複合領域とした「サイバニクス」の研究成果の応用分野は、医療、介護、労作業、スポーツ、娯楽など幅広く、大きな市場が期待される。その実用化に、日本のものづくり技術が活用できる。

15:15～15:50

コンパクトMRI技術を基にしたベンチャー企業の創出とその後の発展

巨瀬勝美教授（物理工学系、(株)エム・アール・テクノロジー）

コンパクトMRI（核磁気共鳴画像）技術を基に、ベンチャー企業を設立した経緯（設立後5年経過）、発展の歴史、今後の展望等について述べる。

申込み及び問合せ先：

参加ご希望の方は、FAX、E-mail等にて、次にお申込みください。参加費は無料です。

産学リエゾン共同研究センター事務室（浅野）
（FAX6565、TEL6153）

E-mail：asano@tara.tsukuba.ac.jp

21世紀COEプログラム拠点「こころを解明する感性科学の推進」第3回COE定期セミナーのお知らせ

21世紀COEプログラム拠点「こころを解明する感性科学の推進」では、関連研究領域の研究者を招いて定期セ

ミナーを開催しています。今回は、「脳機能イメージング研究」の第一人者の川島隆太教授（東北大学未来科学技術共同研究センター）に講演をお願いしました。参加は自由ですので、奮ってご参加下さい。

日時：1月29日（木）17:00～18:30

場所：医学専門学群棟4階セミナー室（4A411号室）

演者：川島隆太教授（東北大学未来科学技術共同研究センター）

演題：脳機能イメージングによる脳とこころの研究

内容：脳科学の研究の目標のひとつに、脳とこころの関係の解明がある。我々は、脳機能イメージング手法を用いてこの難題に取り組んでいる。脳機能イメージングを駆使することにより、さまざまな認知活動に伴うヒトの脳活動の時空間パターンを明らかにすることは可能である。

これまでの多くの脳機能イメージング研究では、外部より与えた刺激を脳がどう知覚し、認知し、そしてその情報をどう処理するかについて考察が行われてきた。これまでに数多くの知見が得られてきてはいるものの、脳とこころの関係を知るには程遠いところにある。我々は、被験者の情動を引き出すような実験課題を用いることにより、「こころ」と呼ばれている活動の断片を脳機能画像として捉えることに挑戦している。本講演では、我々の最新の脳機能イメージング研究知見を交えながら、こころを捉える挑戦について考察を行う。

問合せ先：基礎医学系 尾崎 繁（TEL3499）

平成15年度第6回自然学類化学セミナー開催について

自然学類では、次のとおりセミナーを開催します。最先端の化学について易しく解説されますので、一般の方のご来聴を歓迎します。

日時：1月15日（木）6時限（16:45～18:00）

場所：第一学群H101

演題：化学における電子のスピン

講師：村井久雄教授（静岡大学理学部化学科）

担当：世話人 化学系 新井達郎（TEL4315）

連絡先 同 西尾建彦（TEL6921）

同 守橋健二（TEL4223）

第105回つくばブレインサイエンス・セミナー（1月定例会）開催について

日時：1月13日（火）18:00より

場所：医学専門学群棟 臨床講義室（A）

演題：脳の匂い地図

森 憲作（東京大学大学院医学系研究科・細胞分子生理学分野）

このセミナーは、医科学研究科（修士課程）及び医学研

究科（博士課程）との共催セミナーです。

問合せ先：基礎医学系 TBSA 事務局 大野忠雄（代表）
（TEL3098, FAX3495）

E-mail：tbsa@igaku0.md.tsukuba.ac.jp

（Tsukuba Brain Sci. Assoc.）

U R L：http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/tbsa/

旧姓使用者について

- 総務部人事課 -

筑波大学における旧姓使用の取扱いについて（平成13年11月21日学長裁定）に基づき旧姓使用が承認された職員（学内周知を希望する職員に限る。）を次のとおりお知らせします。

所 属	職 名	戸籍上の氏名	使用する旧姓
附属病院看護部	看護師	関 裕美子	小 池

教育審議会

12月16日（火）開催の第329回会議では

- 平成16年度学生定期健康診断日程について
 - 平成16年度「受験生のための筑波大学説明会」について
 - 平成16年度アドミッションセンター入試（第 期）の実施日程について
 - 平成18年度入試について
 - 平成16年度短期留学推進制度（派遣）に基づく派遣留学生の選考について
 - U.S.UMAPとの学生交流に関するコンソーシアム協定について
 - 学生による授業評価アンケートについて
 - 特色ある大学教育支援プログラムについて
 - 教員会議構成員の追加認定について
- それぞれ承認された。
- 筑波大学法人化準備委員会学生関係専門委員会の検討状況について
 - 国立大学法人法施行に伴う図書館情報大学学生の取扱いについて
 - 平成16年度大学院入学試験（11月期）実施結果について
 - 教育審議会関係の各種委員会等報告について
 - 入学試験の合格発表について
 - 筑波スタンダードについて
- それぞれ報告があった。

研究審議会

12月4日（木）の第324回会議では

- 筑波大学知的財産委員会規則等の制定について
- 筑波大学発明規則等の一部改正について

- 平成16年度共同研究棟の利用許可原案作成のためのワーキンググループの設置について
 - 比較市民社会・国家・文化特別プロジェクト研究組織研究員候補者について
- それぞれ承認された。
- 「特別プロジェクト研究組織等の研究成果報告会」学内プロジェクト研究分野別開催日について
 - 平成16年度科学研究費補助金の申請状況について
 - 平成16年度TARAプロジェクトの採択について
 - 学内プロジェクト等の見直しについて
- それぞれ報告があった。

学生生活審議会

12月5日（金）の第319回会議では

- 学生問題について、担当委員会に付託された。
- 国立大学法人筑波大学学則（案）について
- 学生の表彰候補者の推薦について
- 平成15年度後期分授業料の免除等について
- 日本育英会奨学生の推薦について

それぞれ承認された。

- 第284回学生担当教員会議について
- 課外活動連絡会について
- 第7回学生生活実態調査について
- 就職委員会（第2回全国就職指導ガイダンス - 文部科学省主催 - ）について
- 法人化後の学生宿舎のセキュリティについて
- 安全キャンペーンの実施について

それぞれ報告があった。

平成16年度大学入試センター試験実施に伴う筑波キャンパス構内交通及び駐車場の一部規制について

- 学務部入試課，経理部管財課 -

平成16年度大学入試センター試験が，1月17日（土），18日（日）の両日に実施されます。

当日は受験者送迎のため，試験場周辺は大きな混雑が予想されますので，十分注意のうえ通行願います。

また，試験実施期間中は，混雑緩和及び受験者送迎に入学している方の自家用車，臨時バス等の駐車場確保のため，下記のとおり構内のループ道路及び駐車場を一部規制しますので，ご協力願います。

なお，例年，松見口周辺は交通渋滞するため，附属病院及び医学専門学群に勤務する者以外は，東大通り沿いのグラウンド口又は中央口から進入願います。

記

構内交通及び駐車場規制：1月17日（土）7:30～19:30

18日（日）7:30～18:00

次頁の「平成16年度大学入試センター試験に伴う筑波キャンパス構内交通及び駐車場規制案内」を参

照ください。

次の駐車場は，受験者送迎用（自家用車）車両も利用します。

16 本部外来駐車場（終日ゲートオープン）

k5 仮設本部棟南駐車場（同上）

k25 仮設第三学群北駐車場（同上）

24 工学系駐車場（同上）

54 医学北駐車場（同上）

k7 仮設体芸西駐車場

23 中地区駐車場

37 南地区駐車場

次の駐車場は，臨時（貸切り）バス専用駐車場としますので，敷地の半分を駐車禁止とします。

23 中地区駐車場

37 南地区駐車場

実施期間中に出勤する職員等で，これらの駐車場が指定駐車場となっている場合は，当該駐車場の空いているスペースに駐車してください。

前号の訂正

12月10日（水）発行の第22号の8ページ「平成16年度学年暦」の「第3学期」9行目の「春季休業」にかかる学群欄の「3月31日（水）」は，「3月31日（木）」の誤りでした。お詫びの上訂正します。

「速報つくば」からのお知らせ

「速報つくば」の次回（通巻1070号）の発行は1月15日（木）、原稿締切りは1月8日（木）となります。

「速報つくば」への寄稿に際しましては、一行25文字（英字・数字は半角）で原稿作成し、できるだけ電子ファイル等で寄稿してください。

学内行事、イベント情報、教職員サークル活動などの記事も募集しています。

お寄せ頂いた原稿は、Web上で掲載しますので、ご了承願います。なお、「速報つくば」のhtml版及びPDF版は、次のアドレスでご覧になれます。

<http://www.tsukuba.ac.jp/koho/booklets/index.htm>

学内ニュース、写真の提供及び掲載内容へのご意見は大学広報課（TEL2041，FAX2014）へ願います。

E-mail : sokuho@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

メールで寄稿なされた際は、「速報つくば」より原稿受付の返信メールを配信いたしますのでご確認ください。原稿受付の返信メールがない場合は、お手数でも大学広報課までご連絡いただきますようお願いいたします。